

パロマ ガス瞬間給湯器

PH-16CWQT・PH-20CWQT
PH-16CWQTL・PH-20CWQTL
PH-16CWQHT・PH-20CWQHT
PH-16CWQHTL・PH-20CWQHTL



取扱説明書

このたびは、ガス瞬間給湯器をお買い上げいただきありがとうございます。

- 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解くださるようお願いいたします。
また、この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。
- この「取扱説明書」に書かれている内容以外ではご使用にならないでください。
- 「取扱説明書」を紛失された場合は、お近くのパロマまでお問い合わせください。

Paloma

保証書付

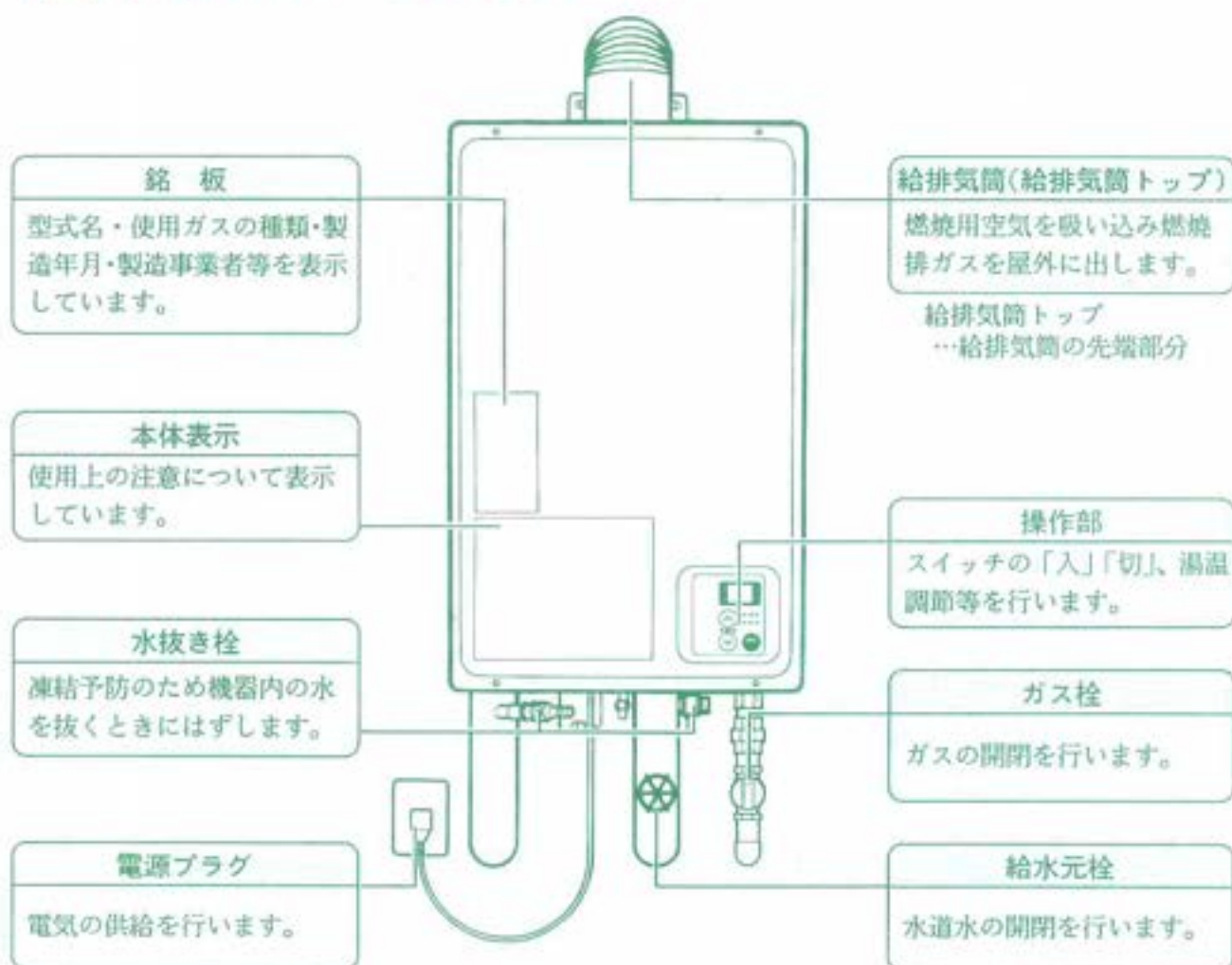
型式名：PH-16CWQT(6)・PH-16CWQT(7)・PH-16CWQT(8)
PH-16CWQT(16)・PH-16CWQT(17)
PH-16CWQHT(7)・PH-16CWQHT(8)
PH-20CWQT(6)・PH-20CWQT(7)・PH-20CWQT(8)
PH-20CWQT(16)・PH-20CWQT(17)・
PH-20CWQHT(7)・PH-20CWQHT(8)



もくじ

はじめに	各部のなまえ	1
	安全に正しくお使いいただくために	1
	必ずお守りください	2
	別売 リモコンのご紹介	6
使いかた	準備と確認	7
	本体操作でのお湯の出しかた	8
	リモコン操作でのお湯の出しかた	9
	リモコンが優先のおはなし	10
	給湯リモコンのタイマーの使いかた	11
持ち上手に させるには	点検とお手入れ	13
	故障かな？と思ったら	15
	凍結を防ぐには	18
仕様・アフターサービス	仕様	20
	アフターサービス	22
	保証書	裏

各部のなまえ



安全に正しくお使いいただくために

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	危険	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
	警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
	注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

絵表示について次のような意味があります。



一般的な禁止



接触禁止



火気禁止



分解禁止



必ず行う



電源プラグを抜く



アースを接続せよ

必ずお守りください

⚠ 危険

■ガス漏れ時の処置

ガス漏れに気付いたときは①～③の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり、電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない

→ 火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

- ① すぐに使用をやめ、ガス栓を閉める。
- ② 窓や戸を開け、ガスを外へ出す。
- ③ お買い上げの販売店かお近くのガス事業者に連絡する。



火気禁止



ガス栓を閉める

■給排気筒の定期点検

給排気筒（給排気筒トップ）が外れたりつまったり、ふさがっていないか点検する

→ 排ガスが室内に漏れて一酸化炭素中毒の原因となり危険です。



禁止

⚠ 警告

■使用ガス・使用電源について

ご家庭のガスの種類と機器の銘板に表示されているガスの種類が合っていることを確かめ、合っていない場合は使用しない

→ 不完全燃焼および爆発点火や火災の原因になります。

電源は、AC100V コンセントを使用する

*おわかりにならない場合または合っていない場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご相談ください。



ガス種を確認

■機器の設置

機器の設置、移動および付帯工事はお買い上げの販売店に依頼する

この機器は屋内用ですので屋外には設置しない

→ 雨水、ほこり、風等の影響により不完全燃焼や火災、機器の故障のおそれがあります。

増改築の際この機器の給排気筒トップを波板などで囲んで屋内状態にしない

→ 不完全燃焼や火災のおそれがあります。



禁止

必ずお守りください

⚠ 警告

■火災予防

機器および給排気筒(給排気筒トップ)の周囲には何も置かない
→ 火災の原因になります。

機器および給排気筒(給排気筒トップ)の周囲にスプレー缶を置かない、近付けない

→ 熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発のおそれがあります。

機器および給排気筒(給排気筒トップ)の周囲ではガソリン・ベンジン・スプレーなどの引火のおそれのあるものを使用しない
→ 火災、やけどの原因になります。



禁止

■異常時の処置

異常な燃焼、臭気、異常音が感じられた場合は、運転を停止し、ガス栓を閉め「故障かな?と思ったら」(17ページ~)に従う
地震、火災などの緊急の際は、自分の身の安全を確かめてから、あわてずに運転停止する

*再びお使いになる前に、必ずお買い上げの販売店かお近くのパロマまで点検を依頼してください。



ガス栓を閉める

⚠ 注意

■用途について

給湯・シャワー以外の用途には使用しない
→ 思わぬ事故の原因となります。

■やけどに注意

使用中や使用直後は、機器本体や給排気筒(給排気筒トップ)とその周辺は高温になっているので、操作部以外には手をふれない
→ やけどのおそれがあります。



接触禁止

■井戸水・地下水をお使いの場合

特に硬水使用の場合、沸いたお湯を機器内にためておかない
→ 石灰分が付着してつまり、機器破損および水漏れの原因となります。これを防ぐには、下記のようにすると、有効です。

- ①使用後、機器本体とリモコンの運転スイッチを「切」にしてから給湯栓を開けて、器体内のお湯を出す。
- ②給湯栓から冷たい水が出たら、給湯栓を閉める。

*井戸水・地下水をお使いになって生じた故障についての修理・補修費用はお客様の負担となります。



⚠ 注意

■薬品類に注意

機器と同室内で特殊薬品を使用したり、保管しない

→ 気化した特殊薬品（パーマ液、アンモニア、イオウ、塩素、エチレン化合物、酸類など）が機器内に入り、故障や不完全燃焼の原因になります。

■補修用性能部品および補助具について

補修用性能部品および補助具は当社の純正部品以外は使わない

→ 当社の純正部品以外のものを使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。



おねがい

■スプレー類について

機器と同室内でシリコンを含むスプレー（ヘアースプレー、静電気防止スプレーなど）を使用しないでください。電気部品の故障の原因になります。

■雷時の注意

雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがありますので雷が発生したときはすみやかに電源プラグをコンセントより抜いてください。（電源コードが埋込まれている場合は元のブレーカーで切ってください。）

雷が遠ざかったことを確かめてから電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。



■停電・断水のときは

停電・断水時は運転を停止しますので給湯栓を閉めておいてください。

→ 停電・通水後はあらためて操作し直してください。通電後、スイッチを「入」にすると、温度表示は42℃になっていますので、再度設定し直してください。

断水後は、配管内に空気が入っているためすぐに運転すると空だきのおそれがあります。機器本体とリモコンの運転スイッチを「切」にした状態で給湯栓を開け、水が出るのを確認してから使用してください。



■ガス事故防止

使用後は、機器本体とリモコンの運転スイッチを「切」にして、ランプの消灯を確かめてください。

お出かけやおやすみの時は安全のためガス栓を必ず閉めてください。

■家庭用製品

本製品は家庭用ですので、業務用には使用しないでください。著しく機器の寿命が縮まります。

■飲用にお使いのときは

朝一番などのように長時間使わなかった後、お使い始めのまだぬるいお湯（洗面器一杯程度）は念のため雑用水としてお使いいただき、その後飲用水としてお使いください。

■長期間使用しないときは

- ① ガス栓・給水元栓を閉める。
- ② 電源プラグを抜く。
- ③ 水抜きをする。（19ページ「機器内の水を抜く方法」参照）

必ずお守りください

電気事故防止

- 濡れた手で電源プラグをさわらないでください。
感電のおそれがあります。
- 電源プラグの差し込みは確実に行ってください。
プラグにほこりが付いていたり、差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります。
- 電源コードを引っばって、プラグを抜かないでください。
コードを引っばると断線して、発熱や発火の原因となることがあります。
- この機器はアースが必要です。アースの接続を確認してください。



アースを接続する

設置状態の確認

ご使用前や日常の点検の際にご確認ください。

1. 機器は屋内に設置してある。
2. 機器は堅固に設置してある。
3. 給排気筒は屋外まで延長してある。
4. 換気扇などからの風が機器の給気に影響を与えない場所に設置してある。
5. 給気が十分に行える場所に設置してある。
6. 機器の周囲に可燃物がない。
 - カーテンなどの燃えやすいものがない。
 - 棚の下など落下物の心配がない。
7. 機器の給排気筒トップの近辺に窓（隣家の窓も含む）がない。
8. 油煙の多い場所に設置してない。
9. 機器への配管にはガス栓・給水元栓が取り付けられている。
10. 凍結予防のため、給水・給湯配管に保温材を巻く等の措置がしてある。
また水抜き栓は保温材から出ており、水抜き操作できるようになっている。
11. 機器の給排気筒トップを波板などで囲んでいない。（2ページ参照）



* 以上の設置に関し、ご不明な場合は、施工業者までお問い合わせください。

長年のご使用で危険な使用環境にならないように上記の点に配慮していただき、安全にご使用ください。

■特監法対象機器

この機器の設置および変更工事は、法律(特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律)に基づいて行い、工事完了後、器体(機器本体)に法定のステッカー(表示ラベル)を貼り付けることになっておりますので、確認してください。

別売 リモコンのご紹介

リモコンは下記MC-95、SC-95のほかにMC-90、SC-90があります。
MC-95、SC-95のリモコンの表面には抗菌処理が施されています。



給湯リモコン MC-95

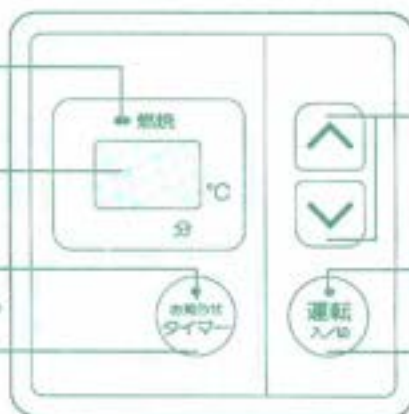
…台所等に取り付けるリモコンです

燃焼ランプ(赤)
給湯燃焼時に点灯します。

表示部
(下図参照)

タイマーランプ(緑)
タイマースイッチ「入」で点灯します。

タイマースイッチ
タイマーのセット時とスタート時に押します。



湯温調節スイッチ兼
タイマーセットスイッチ
給湯温度の調節とタイマー設定時間の調節をします。

運転ランプ(緑)
運転スイッチ「入」で点灯します。

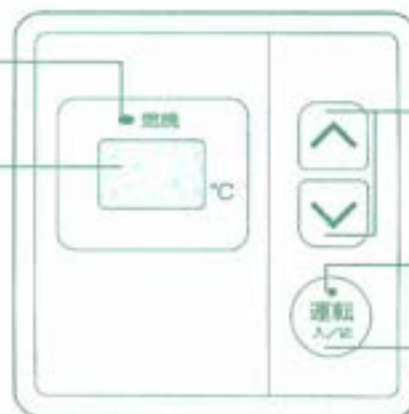
運転スイッチ
給湯運転する時は押して「入」にします。
使用後は押して「切」にします。

シャワーリモコン SC-95

…浴室内に取り付けるリモコンです

燃焼ランプ(赤)
給湯燃焼時に点灯します。

表示部
(下図参照)



湯温調節スイッチ
給湯温度を調節します。

運転ランプ(緑)
運転スイッチ「入」で点灯します。

運転スイッチ
給湯運転する時は押して「入」にします。
使用後は押して「切」にします。

リモコン表示部

給湯設定温度表示 (P9参照)
給湯温度のめやすが表示されます。

タイマー設定時間表示 (P11参照)
タイマー設定時間が表示されます。
(給湯リモコンのみ)



(P17参照) エラーコード
機器が正常に作動しないときに切り替わります。

タイマー表示
タイマー時間表示中に点灯されます。
(給湯リモコンのみ)

…スイッチ音の消しかた、鳴らしかた…

スイッチを押したときのピッという音は消したり、
鳴らしたりすることができます。
(お買い上げ時や再通電時は鳴るように設定されています。)
*MC-90、SC-90はスイッチ音を消すことはできません。

操作

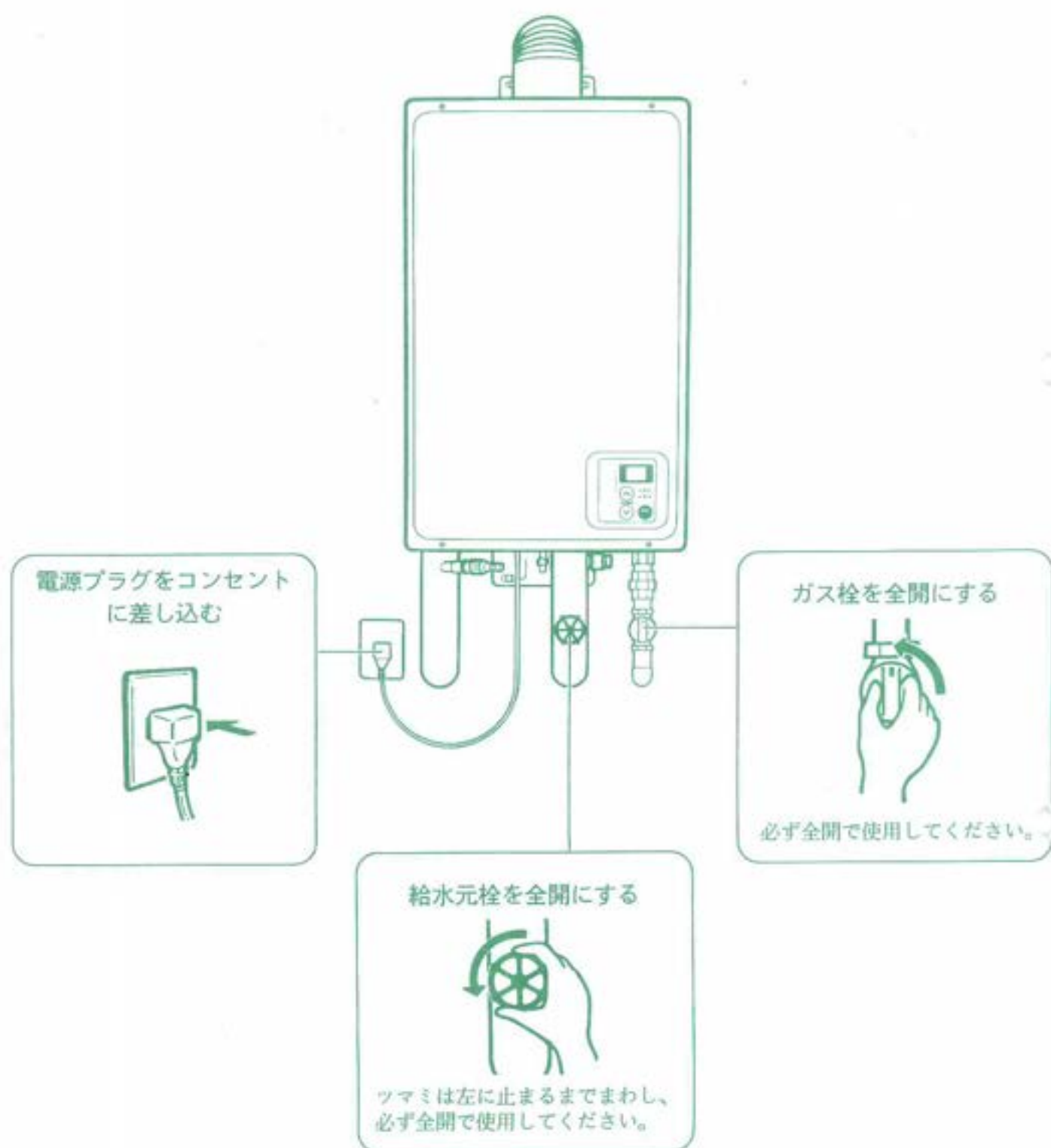
- ① 燃焼ランプを「切」(ランプ消灯)にしておく
- ② 湯温調節スイッチを押しながら運転スイッチを押す

*操作する度に、鳴る・鳴らないの設定が切り替わります。操作したリモコンにのみ働きます。

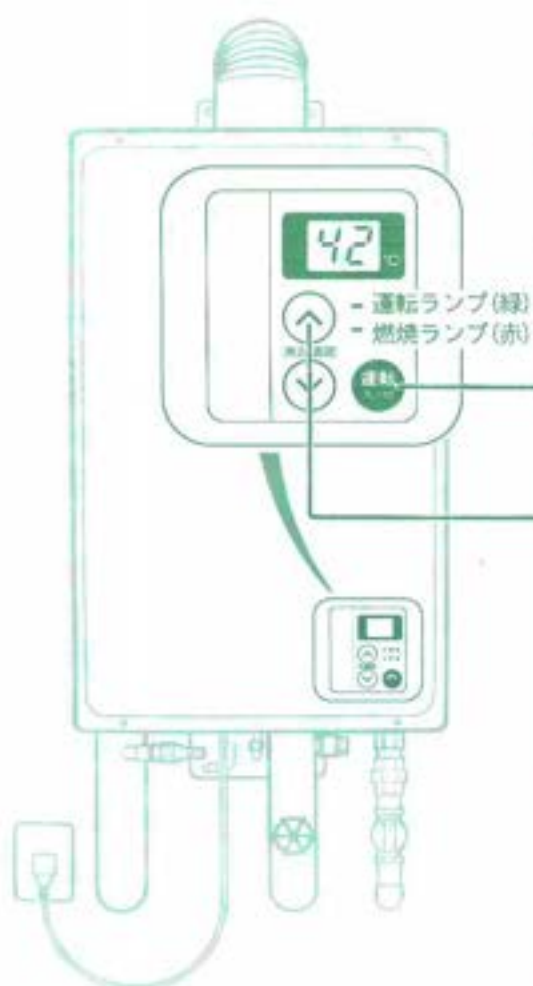
必ずお守りください

別売 リモコンのご紹介

準備と確認



本体操作でのお湯の出しかた



運転
入/切

を押す

- 運転ランプ(緑)が点灯します。
- 給湯湯温は、お買い上げ時に設定の42℃または前回使用時に設定の湯温が表示されます。

あつく ぬるく



で湯温調節する

給湯湯温調節のめやす

ややぬるめ 適温 やややあつめ あつい
38 39 40 41 42 43 44 45 46 48 50 55 60 70℃

38～46℃までは押し続けると連続的に変わります。それ以降は1回押すごとに48、50、55、60、70℃と変わります。
* 給湯栓からの出湯温度は設置条件(季節・配管長さ等)で異なります。



開

給湯栓を開けると
お湯が出ます

- 機器が燃焼すると、燃焼ランプ(赤)が点灯します。

ご使用後は運転スイッチを押して「切」(運転ランプ消灯)にしてください。

* 初めてお使いになるときなどはガス配管中に空気が入っていて点火しないことがあります。(給湯栓の開閉操作を2～3回繰り返してください。)

* 2ヶ所以上で同時にお湯を使用したり断続的に使用すると湯量・湯温が不安定になることがあります。

* 給湯湯温を70℃に設定した後で、本体操作およびリモコン(MC-95・SC-95)の温度表示70が消えたり、他の表示が出るような操作をした場合、給湯温度は安全のため60℃に切り替わります。

警告

シャワー・給湯の使用中は使用者以外はお湯の温度を変更しない

→ 突然、熱湯が出てやけどしたり、冷水が出てビックリすることがあります。

給湯栓を開けたときの出始めのお湯は、一瞬あついことがあるのでいきなり手や体にかかず、湯温を確認する

→ やけどのおそれがあります。

湯量を少なくするときはゆっくり、しぼりすぎないように行う

→ 急に行ったりしぼりすぎるとあついお湯が出る場合があります。

あついお湯を使用後は湯温を「低温」に戻す

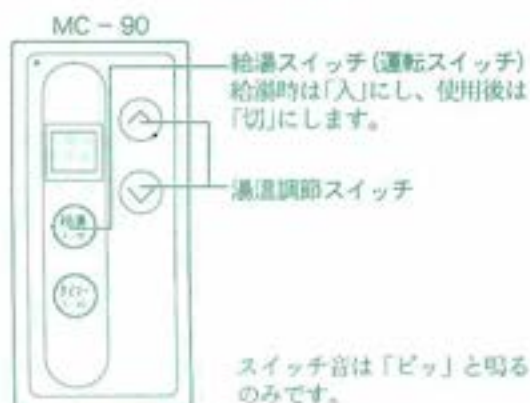
あついお湯の使用直後にぬるい温度に設定を下げた場合、しばらく流してから使用する

→ 配管内のあついお湯が出てしまうまで、すぐにはぬるいお湯になりませんので、やけどのおそれがあります。

リモコン操作でのお湯の出しかた



- * 給湯リモコンでお湯の出しかたを紹介しますが、シャワーリモコンも同じ操作方法です。
- * 運転スイッチの「入」「切」はそれぞれのリモコンで行ってください。
- * 初めてお使いになるときなどはガス配管中に空気が入っていて点火しないことがあります。(給湯栓の開閉操作を2〜3回繰り返してください。)
- * 2ヶ所以上で同時にお湯を使用したり断続的に使用すると湯量・湯温が不安定になることがあります。
- * 給湯湯温を70℃に設定した後で、本体操作およびリモコン(MC-95・SC-95)の温度表示70が消えたり、他の表示が出るような操作をした場合、給湯温度は安全のため60℃に切り替わります。



運転 入/切 を押す

- ビビッと鳴り、運転ランプ(緑)が点灯します。
- 給湯湯温は、お買い上げ時に設定の42℃または前回使用時に設定の湯温が表示されます。

あつく めるく で湯温調節する

- ビッと鳴り、湯温が変わります。
- 42℃設定時はビビッと鳴ります。
- 60℃、70℃設定時はビビビッと鳴って高温注意をお知らせします。

給湯湯温調節のめやす

ややぬるめ 適温 ややあつく あつい

38 39 40 41 42 43 44 45 46 48 50 55 60 70℃

38〜46℃までは押し続けると連続的に変わります。それ以降は1回押すごとに48、50、55、60、70℃と変わります。

* 給湯栓からの出湯温度は設置条件(季節・配管長さ等)で異なります。



- 機器が燃焼すると、燃焼ランプ(赤)が点灯します。

ご使用後は運転スイッチを押して「切」にしてください。ピーと鳴り、運転ランプが消灯します。

⚠ 警告

- シャワー・給湯の使用中は使用者以外はお湯の温度を変更しない
- 突然、熱湯が出てやけどしたり、冷水が出てビックリすることがあります。
- 給湯栓を開けたときの出始めのお湯は、一瞬あついことがあるのでいきなり手や体にかけて、湯温を確認する
- やけどのおそれがあります。
- 湯量を少なくするときにはゆっくり、しぼりすぎないように行う
- 急に行ったりしぼりすぎるとあついお湯が出る場合があります。
- あついお湯を使用後は湯温を「低温」に戻す
- あついお湯の使用直後にぬるい温度に設定を下げた場合、しばらく流してから使用する
- 配管内のあついお湯が出てしまうまで、すぐにはぬるいお湯になりませんので、やけどのおそれがあります。

リモコンが優先のおはなし

リモコン(給湯リモコン・シャワーリモコン)を取り付けますと、リモコン使用中はリモコンが優先し、機器本体では湯温を変えられないしくみになっています。

*運転スイッチの「入」「切」はそれぞれのリモコンで行ってください。

(例) シャワーリモコンを設置の場合



〔シャワーリモコン・給湯リモコン両方設置の場合〕には、シャワーリモコン使用中はシャワーリモコンが優先し、給湯リモコンでは湯温を変えられないしくみになっています。この場合も、上図と同じように、給湯リモコンの温度表示が消えてシャワーリモコン優先をお知らせします。それぞれの優先関係は右表のようになっています。

警告

シャワーリモコンがある場合、おふろでお湯を使うときは必ずシャワーリモコン(優先)を使用する
→勝手に温度を変えられて、やけどのおそれがあります。

湯温調節できる(優先)側

湯温調節できない側

シャワーリモコン 	機器本体 	*機器本体で湯温調節したいときはシャワーリモコンを「切」にしてください。
給湯リモコン 	機器本体 	*機器本体で湯温調節したいときは給湯リモコンを「切」にしてください。
シャワーリモコン 	給湯リモコン・機器本体 	*給湯リモコンで湯温調節したいときはシャワーリモコンを「切」、機器本体で湯温調節したいときはシャワーリモコンと給湯リモコンを「切」にしてください。

リモコン操作でのお湯の出しかた

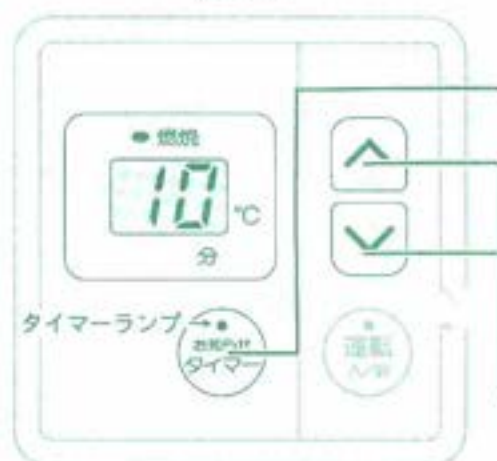
リモコンが優先のおはなし

給湯リモコンのタイマーの使いかた

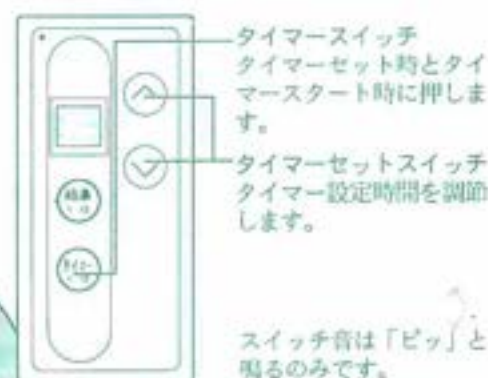
給湯リモコンは便利なタイマー付です！(*タイマーはお知らせ機能だけです。*タイマー終了で給湯は自動停止しません。)

設定した時間が経過すると、“ビビ
ビッ”でお知らせします。おふろ
のお湯張り時間はもちろん、バス
タやそうめんのゆで上り時間など
など、奥様のアイデア次第で使い
みち、いろいろです！

MC-95



MC-90



- この機能は運転スイッチの「入」「切」に関係なく使用できます。

※  を押してから次のスイッチを押すまでが15秒以内に行われないとタイマーは設定できません。15秒以内に行われなかった場合は、最初からやり直してください。

お知らせ
タイマー

を押す

- ビッと鳴り、前回使用時に設定の時間が表示され、タイマーランプ(緑)と「分」が点灯します。

15秒
以内

ふえる

へる



で時間を設定する

- ビッと鳴り、1~99分まで1分ずつ変わります。
- 押し続けると、連続的に変わります。

15秒
以内

お知らせ
タイマー

をもう一度押すと、
タイマースタート

- ビビッと鳴り、タイマーランプが点滅します。

タイマーが終了すると、15秒間"ピピピッ"でお知らせ

- ビビビッを止めるには  を押してください。
- ブザー終了後、表示は「切」の状態になります。
(運転スイッチが「入」になっていると、給湯表示に戻ります。)

運転
入/切

運転スイッチが「入」になっているとタイマー設定後、給湯表示に戻ります。

給湯リモコン
使用の場合

給湯・シャワー
リモコン両方
使用の場合

10
分

→ 42
℃

または --

タイマーの残り時間を知りたいとき



ビッ

7
分

→ 前の表示
に戻る

タイマーを途中で止めるには

運転スイッチ「切」のとき

運転スイッチ「入」のとき



ビー

1回
押す



ビッ・ビー

2回
押す

点検とお手入れ

⚠ 注意

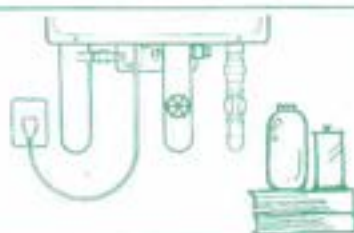
- *機器を安全・快適にお使いいただくために日常の点検・お手入れは定期的に必ず行ってください。そのときは、機器本体とリモコンの運転スイッチを「切」にし、ガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。
- *機器やリモコンを分解すると故障や事故の原因になりますから絶対にしないでください。
- *お手入れの際、指先には十分注意してください。



分解禁止

点 検

危険な使用環境になっていませんか？



長年のご使用で、危険な使用環境にならないように、5ページの「設置状態の確認」に従った点検を行っていただき、常に安全環境作りに心掛けてください。

外観に異常はありませんか？



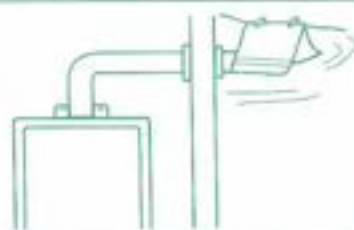
塗装面にへこみがあるときや機器が変色している場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマに点検を依頼してください。

運転中に異常音は聞こえませんか？



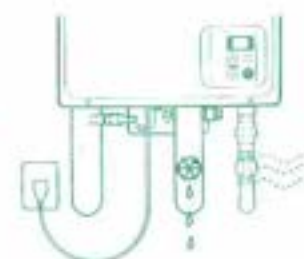
お買い上げの販売店かお近くのパロマまで点検を依頼してください。

給排気筒トップをふさいでいませんか？



機器の停止や異常過熱の原因になります。給排気筒トップをふさがないでください。

機器や配管からのガス漏れ・水漏れはありませんか？



ガス漏れのときは、ただちに使用を中止し、2ページの「ガス漏れ時の処置」に従ってください。水漏れがある場合は、施工業者に修理を依頼してください。特に、地震、火災、雪・水害などの後再びお使いになる前には、必ずお買い上げの販売店かお近くのパロマまで点検を依頼してください。

お手入れ

機器外装・リモコン

1



水気を絞った布に台所用中性洗剤を含ませ、

2



軽くふき、

3



乾いた布で洗剤分と水気を十分ふきとります。

※リモコンは掃除後、画面が乱れることがありますがまもなく直ります。

定期点検のおすすめ 機器のご使用に支障がなくても、2年に1度程度（使用頻度の高い場合には1年に2回程度）にバーナや各部の作動が“正常”かどうか点検するのが安全で長期間使用していただくための“ひけつ”です。お買い上げ販売店かお近くのパロマまでご相談のうえお申しつけください。（有料）

おねがい

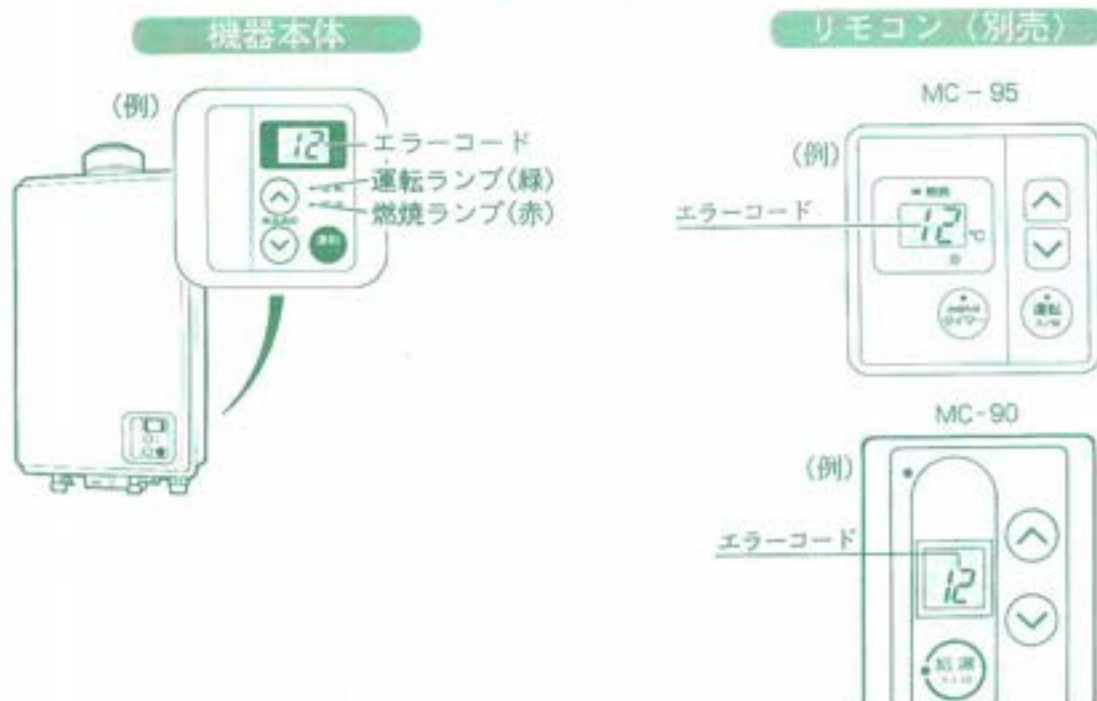
- 浴槽、洗面台はこまめに掃除してください。湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと石鹸などに含まれる脂肪酸と反応し、青く変色することがあります。
- 機器本体をタワシやブラシなどでこすらないでください。
- 中性洗剤以外の洗剤、シンナー、ベンジン、みがき粉、スチールウールなどは使用しないでください。表面がキズつきます。また、レンジクリーナーなどのアルカリ性洗剤は塗装がはがれるおそれがあります。
- 機器外装のお手入れの際、銘板と本体表示をはがさないでください。
- リモコンに水（湯）を直接かけて洗わないでください。
- 本体やリモコンは子供がいたずらしないように注意してください。
- 点検・お手入れ後は、給湯栓を開け、機器が正常に作動するか確認してください。
- 故障または破損したと思われる場合は使用しないでください。
- 不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合はお買い上げの販売店かお近くのパロマまでご相談ください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、エラーコードが表示されていないか確認します。

＊給湯栓は開いたままにしておきます。

エラーコードはここに表示されます



エラーコードが表示されたら…

17 ページの処置を行ってください。

エラーコードが表示されていない場合

エラーコードが表示されている場合

エラーコードが表示されていない場合

症 状	原 因 と 処 置 (参照ページ)
給湯栓を開けても お湯が出ない	●給水元栓の開きが不十分⇒給水元栓を全開にする ●給湯栓をしぼりすぎている⇒給湯栓をもっと開ける (流水量が少ないと消火します。) ●凍結している⇒凍結がとけるまで待つ(18、19 ページ) ●断水・停電している⇒通水・通電するまで待つ(4 ページ) ●機器本体またはリモコンの運転スイッチが「入」になっていない ⇒運転スイッチを「入」にする (8、9 ページ) ●使い始めは給湯配管内の冷水を追い出すまでしばらくお湯は出ません。 ●機器から蛇口までの距離が長いと、お湯が出てくるまでに時間がかかることがあります。
低温のお湯が出ない	●湯温調節が不適切⇒操作方法に従う(8~10 ページ) ●給水元栓が十分開いていない⇒給水元栓を全開にする ●水温が高い夏期などに少量のお湯を得ようとすると、湯温が高くなる ことがあります。給湯栓をもっと開けて湯量を多くすれば、湯温は安 定します。
高温のお湯が出ない	●湯温調節が不適切⇒操作方法に従う(8~10 ページ) ●給湯栓を全開にしている⇒給湯栓をもう少ししぼる ●ガス栓の開きが不十分⇒ガス栓を全開にする
途中で水になる	●ガス栓の開きが不十分⇒ガス栓を全開にする ●給水元栓の開きが不十分⇒給水元栓を全開にする ●停電している⇒通電するまで待つ(4 ページ) ●給湯栓をしぼりすぎている⇒給湯栓をもっと開ける (流水量が少ないと消火します。)
水抜き栓兼安全弁 からときどき水滴 が落ちる	機器内に高い圧力が生じた場合、安全弁の働きにより水抜き栓からとき どき水が落ちることがありますが水漏れではありません。(床が濡れて困る ときは、付属のビニールホースで支障のないところへ排水してください。)
お湯が白く濁って 見える	水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧される ことによって細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー 等の泡と似た現象であり、汚濁とは違い無害です。
給排気筒トップから白い 煙のようなものが出る	外気温が低いときに、排気ガス中の水蒸気が白く見えますが故障では ありません。
給湯停止後もファン が回転している	再使用時にお湯を早く出すためです。しばらくすると停止します。

以上のことをお調べのうえ、なお不具合のあるときやおわかりにならないときは、お買い上げの販売店か
お近くのパロマまでご連絡ください。

故障かな？と思ったら

17 ページに進み、エラーコードに応じた処置をしてください。

故障かな？と思ったら

エラーコードが表示されている場合

エラーコードが表示されたら

- ①給湯栓を閉め、機器本体およびリモコンの運転スイッチを「切」にする。
5分ほど待ってから、再び、本体およびリモコンの運転スイッチを「入」にし、給湯栓を開ける。
- ②それでもなおエラーコードが表示される場合
 1. 下記以外のエラーコードが表示される場合は③へ。
 2. 下記のエラーコードが表示される場合は、給湯栓を閉め、本体およびリモコンの運転スイッチを「切」にする。下記の処置をし、再使用する。
それでもエラーコードが表示される場合は③へ。
- ③本体およびリモコンの運転スイッチを「切」にし、ガス栓、給水元栓を閉めた後、お買い上げの販売店かお近くのバロマまで点検・修理を依頼してください。
このとき作業を円滑に行うために「エラーコード」の表示をお知らせください。

エラーコード	原因	処置
05	機器の給排気筒トップをふさいでいる	機器の給排気筒トップをふさいでいるものを取りのぞく
11	ガス栓の開きが不十分	ガス栓を全開にする
12	LPガスがなくなりかけている (LPガス使用の場合)	ボンベを交換する
15	給湯栓を絞りすぎている	給湯栓をたくさん開けて湯量を増やす
	ソーラーシステムに接続している	ソーラー接続の場合はすぐに安全装置が働いてしまうため、湯温を「高温」に設定して混合水栓で水を混ぜてお使いください。
	水抜き後の再使用時の順番が違っている	19ページ「水抜き後の使いかた」参照

エラーコードは「11」「12」等の2桁の数字と「-0」「C2」等の記号が交互に表示されます。

凍結を防ぐには

凍結予防装置

この機器には、凍結予防ヒータが組み込まれていますので、機器本体に電気が供給されているかぎり、無風状態で外気温マイナス20℃程度まで機器内の凍結を予防できます。

凍結予防のため電源プラグは抜かないでください。



お願い

- 凍結予防ヒータが有効なのは無風状態で外気温マイナス20℃程度までですので、気象状況により下記の方法で凍結による破損防止の処置を行ってください。
- 機器内は保温しますが、配管・バルブ類の凍結予防はできませんので配管は水入口、湯出口まで保温材でおおうなどして凍結予防してください。

凍結防止方法1…通水による方法

機器本体だけでなく、給水・給湯配管、バルブ類の凍結防止もできます。

(下記の1～3の順序で行ってください。)



流量が不安定になるため、30分後にもう一度流量を確認してね！



3 給湯栓を少し開ける。

お願い

寒い日は多めに水を流してください。

凍結を防ぐには

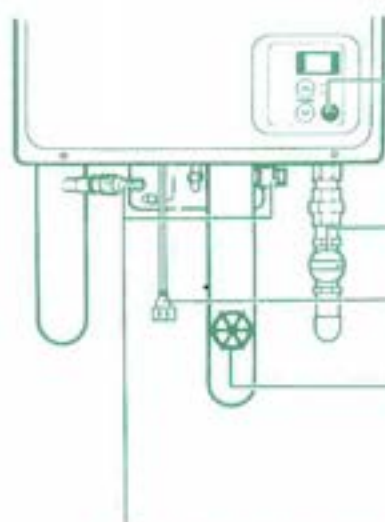


凍結したときは

- 凍結すると、機器の破損・異常をおこし、水漏れや空だきなどのおそれがあります。
- 凍結したときは、とけるのを待ち、水漏れや作動に異常がないかを確認してから、お使いください。
- 凍結防止せずに凍結して、機器を損傷させたり、凍結による水漏れにより床・壁等を汚した場合の修理・補修費用はお客様の負担となります。

凍結防止方法2…機器内の水を抜く方法

(下記の1～6の順序で行ってください。)



1 運転スイッチを「切」にする。
リモコンがある場合は、リモコンの
運転スイッチも「切」にします。

2 ガス栓を開める。

3 運転スイッチを「切」にしてから約
10秒経過後、電源プラグを抜く。

4 給水元栓を開める。
不凍栓使用時は不凍栓を閉め、
給水元栓を全開にします。

6 床をぬらさないように容器で受け、水抜き栓(2か所)をはずす。
(約620c.c.の水が排出されます。)
●再度使用するまでこのままにしておきます。



5 全ての給湯栓を
開ける。

水抜き後の使いかた

- ①水抜き栓(2か所)を閉める。
 - ②給水元栓(または不凍栓)を開け、給湯栓から水が出るのを確かめてから、いったん水を止める。
 - ③7ページの「準備と確認」から始める。
- *再使用時にまず、上記の操作を行わないと、エラーになる場合があります。

おねがい

配管・バルブ類の凍結予防はできませんので、配管は水入口、湯出口まで保温材でおおうなどして凍結予防してください。

仕 様

品 名		PH-16CWQT PH-16CWQTL PH-16CWQHT PH-16CWQHTL	PH-20CWQT PH-20CWQTL PH-20CWQHT PH-20CWQHTL	接 続	給 湯	R $\frac{3}{4}$ (15A)
					給 水	R $\frac{3}{4}$ (15A)
					ガ ス	下表「ガス消費量」欄参照
型 式 名		下表「型式名」欄参照		電 源	使用電源	AC100V (50Hzまたは60Hz)
					消費電力	次ページ「消費電力」欄参照
					50Hz/60Hz共通	凍結予防ヒータ 64W
種 類	給湯方式	先止め式				
	給排気方式	強制給排気方式				
設 置 方 式		屋内壁掛式				
本体（機体）寸法		高さ615×幅350×奥行170mm				
重 量（本体）		18kg				
点 火 方 式		放電点火式				
給湯温度制御		比例制御				
最低作動水量		2.5 ℓ/分				
使 用 水 圧		78.5～98.1kPa (0.8～10.0kg/cm ²)				
最低作動水压		9.81kPa (0.1kg/cm ²)				
付 属 品		ビニールホース				
別 売 品		給湯リモコン MC-95、MC-90 シャワーリモコン SC-95、SC-90 配管カバー、ケーブル、取付けパイプセット				
安 全 装 置		●炎検出安全装置 ●過熱防止装置 ●過電流防止装置 ●空だき防止装置 ●沸騰防止装置 ●過圧防止装置 ●凍結予防装置				

型 式 名		PH-16CWQT(6)・PH-16CWQT(7)・PH-16CWQT(8)・PH-16CWQT(16)・PH-16CWQT(17) PH-16CWQHT(7)・PH-16CWQHT(8)				
使用ガス (ガスグループ)		ガス消費量 kW(kcal/h)	出湯量(最大) ℓ/分			ガス 接続
			25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇	
都市ガス用	6A	34.9(30000)	(16.0)	10.0	7.2	R¾(20A)
	5C	34.9(30000)	(16.0)	10.0	7.2	
	L1 (6B、6C、7C用)	34.9(30000)	(16.0)	10.0	7.2	
	L3(4A、4B、4C用) ☆4C標準	34.9(30000)	(16.0)	10.0	7.2	
	L3 (4A、4B、4C用)	34.9(30000)	(16.0)	10.0	7.2	
	12A	32.6(28000)	(14.9)	9.3	6.7	R¾(15A)
	13A	34.9(30000)	(16.0)	10.0	7.2	
	LPガス用	34.9(2.5kg/h)	(16.0)	10.0	7.2	

型 式 名		PH-20CWQT(6)・PH-20CWQT(7)・PH-20CWQT(8)・PH-20CWQT(16)・PH-20CWQT(17) PH-20CWQHT(7)・PH-20CWQHT(8)				
使用ガス (ガスグループ)		ガス消費量 kW(kcal/h)	出湯量(最大) ℓ/分			ガス 接続
			25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇	
都市ガス用	6A	43.6(37500)	(20.0)	12.5	9.1	R $\frac{3}{4}$ (20A)
	5C	39.5(34000)	(18.1)	11.3	8.2	
	☆L1 (6B、6C、7C用)	41.3(35500)	(18.9)	11.8	8.6	
		43.6(37500)	(20.0)	12.5	9.1	
	L3 (4A、4B、4C用) ☆4C標準	37.8(32500)	(17.3)	10.8	7.8	
	L3 (4A、4B、4C用)	37.8(32500)	(17.3)	10.8	7.8	
	12A	40.7(35000)	(18.6)	11.6	8.5	R $\frac{3}{4}$ (15A)
	13A	43.6(37500)	(20.0)	12.5	9.1	
LPガス用		43.6 (3.12kg/h)	(20.0)	12.5	9.1	

☆PH-16CWQT(16)・PH-16CWQT(17)・PH-20CWQT(16)・PH-20CWQT(17)の都市ガスL3は4C標準になります。

☆PH-20CWQT(16)・PH-20CWQT(17)の都市ガスL1は下段を参照してください。

●出湯量の()内の数値は、混合水栓で湯水を混合させた場合の計算値です。

(品名 PH-16CWQT・PH-16CWQTL・PH-20CWQT・PH-20CWQTLのみ)

●本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

凍結を防ぐには

仕様

仕 様

*消費電力は50Hz、60Hz共通です。

使用方式 (5スグループ) 型式名	6A	5C	L1 (6B,6C,7C用)	L3(4A,4B,4C用)		12A	13A	LP
				4A,4B,4C用	4C標準			
PH-16CWQT(6)	41W	48W	41W	41W	—	—	—	—
PH-16CWQT(7)	41W	48W	41W	41W	—	48W	48W	41W
PH-16CWQT(8)	41W	48W	41W	41W	—	48W	48W	41W
PH-16CWQT(16)	40W	48W	40W	—	44W	—	—	—
PH-16CWQT(17)	40W	48W	40W	—	44W	40W	40W	40W
PH-16CWQHT(7)	41W	48W	41W	41W	—	48W	48W	41W
PH-16CWQHT(8)	41W	48W	41W	41W	—	48W	48W	41W
PH-20CWQT(6)	53W	53W	65W	53W	—	—	—	—
PH-20CWQT(7)	53W	53W	65W	53W	—	65W	65W	53W
PH-20CWQT(8)	53W	53W	65W	53W	—	65W	65W	53W
PH-20CWQT(16)	54W	54W	63W	—	54W	—	—	—
PH-20CWQT(17)	54W	54W	63W	—	54W	63W	63W	54W
PH-20CWQHT(7)	53W	53W	65W	53W	—	65W	65W	53W
PH-20CWQHT(8)	53W	53W	65W	53W	—	65W	65W	53W

アフターサービス

アフターサービスについて

点検・修理を 依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」(15~17ページ)を見てもう一度確認し、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。

なお、修理のご依頼は、**【電話】0120-193-860**でも24時間受付いたしますので、ご利用ください。

☆アフターサービスをお申しつけのときは次のことをお知らせください。

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 現象(できるだけ詳しく…エラーコード等)
- 型式名(銘板表示のもの)
- ご購入日・ガス種
- 道順・目標



受付時間	平日 9:00~18:30		
	土曜日・日曜日・祝日 9:00~17:00 (修理受付のみ)		
ご相談窓口	住所	TEL	FAX
北海道サービスコールセンター	F001-0033 札幌市北区北33条西7丁目1-1	011-726-2822	011-736-7374
東北サービスコールセンター	F983-0041 仙台市宮城野区南目館20-10	022-239-1848	022-238-0838
関東サービスコールセンター	F153-0042 東京都目黒区青葉台1-28-9 越後ビル2F	03-3719-4633	03-3715-2722
中日本サービスコールセンター	F467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6-23	052-824-5188	052-824-5385
近畿サービスコールセンター	F550-0013 大阪市西区新町3-13-20 パロマアワザビル2F	06-6534-6751	06-6534-6755
中四国サービスコールセンター	F732-0804 広島市南区西蟹屋3丁目8-12	082-262-8341	082-263-2400
九州サービスコールセンター	F812-0016 福岡市博多区博多駅南2-9-13	092-472-0924	092-471-8400

*住所・電話番号などは変更することがありますのであらかじめご了承ください。

補修用性能部品の最低保有期間について

補修用性能部品は当製品製造打ち切り後、7年間(BL認定品は10年間)保有しております。

ガスの種類が変わるとき

ご贈答、転居等によりガスの種類が変わるときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。この場合、費用は保証期間中でも有料となります。

製造年月について

製造年月は本体貼付けの銘板でお確かめください。

銘板の読みかたは、

[例] 96 (製造年) - 03 (製造月) - 276854 (製造番号) です。

その他ご不明の点は

お買い上げの販売店かお近くのパロマまたは「お客様相談室」までご連絡ください。

パロマお客様相談室

F467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6番23号

TEL 052-824-5145

保証書

品名

ガス瞬間給湯器

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な設置・使用状態において万一機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

《無料修理規定》

- 取扱説明書、本体貼付けラベル等の注意書きに従った正常な設置・使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店がお近くのパロマが無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにご依頼のうえ、本書をご提示ください。なお、修理および運送に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お近くのパロマへご相談ください。

- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - イ 取扱説明書によらないで使用になったり使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - ロ お買い上げ後の取付場所の移動・取付工事依頼の必要な場合、落下等による故障および損傷
 - ハ 地震、火災、水害、台風、落雷、凍結等の天災地変、異常電圧（電気部品搭載の故障の場合）、供給事情（燃料・給水等）などによる故障および損傷
 - 一般家庭用以外（例えば、業務用使用、車載、船舶への搭載等）に使用された場合の故障および損傷
 - 亦 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入・捺印のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - ヘ 別売部品の取替えおよび保守等の費用
 - ト 本書の提示がない場合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

お客様	お名前	様
	ご住所	〒
	お電話	
販売店	店名	
	住所	
	電話番号	

お買い上げ日	年 月 日	
保証期間	お買い上げ日から1年間	
BL認定品の保証期間	本体	お買い上げ日から2年間
	熱交換器	お買い上げ日から3年間

株式会社 パロマ

〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6番23号
TEL 052 (824) 5145



修理記録

年 月 日	修理内容	サービス員 印

- ※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにお問い合わせください。
- ※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。